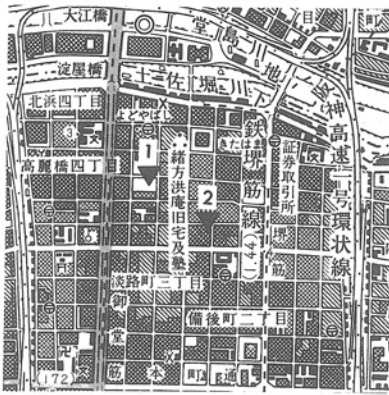


大阪・大坂城下町跡

おおさかじょうかまち

- 1 所在地 一 大阪市中心区高麗橋三丁目、二 同区道修町二丁目
- 2 調査期間 一 一九九五年(平7) 四月～五月、二 一九九五年四月～七月
- 3 発掘機関 (財)大阪市文化財協会
- 4 調査担当者 一 豆谷浩之、二 南 秀雄
- 5 遺跡の種類 近世城下町
- 6 遺跡の年代 安土桃山時代～江戸時代
- 7 遺跡及び木簡出土遺構の概要



(大阪東北部 二万五千分の一)

一 OJ九四—一五次調査
大阪の船場地域は、慶長三年(一五九八)に豊臣氏大坂城の三の丸が築かれたときに、新たに整備された城下町である。調査地点は船場の北部に位置し、豊臣期における城下町の中では

西端に近い。

今回の調査では大坂の陣(一六一四・一五年)前後の時期のゴミ捨て穴が多数検出された。調査地区は当該時期の屋敷地の最も奥にあたり、もっぱらゴミ捨て場として利用されていたようである。木簡はいずれも大坂の陣以前の十七世紀初頭頃(豊臣時代後期)のゴミ捨て穴から出土した。

二 OJ九四—一六次調査

調査地は道修町通りを堺筋から西に入ったところである。豊臣後期に開発されて以降、一八世紀初めまでの間、間口二間前後の三つの敷地に分かれていたと推定され、五時期の建物群が確認された。このうち、一七世紀末から一八世紀初めの町屋のひとつは、大量の硯の未製品が出土したことから硯屋であったと考えられる。

木簡の大半は屋敷地の裏にあるゴミ捨て穴からの出土である。(4) (5)は豊臣後期、(6)～(15)は一七世紀前半から中頃、(16)～(21)は一七世紀後半、(22)は前述の硯屋に伴うものである。このうち、(7)～(11)と(12)～(15)はそれぞれ同じゴミ捨て穴から出土した。

8 木簡の釈文・内容

一 OJ九四—一五次調査

(1)

・ <七ひや
・ <七ひや
・ <七ひや



(2)



(3) 表

(2) 「<大□□□□」

103×20×2 032

(3) ・「大(花押)(花押)(花押)□」

・「□」

(203)×24×5 061

(1)(2)はともに判読困難であるが、形状から荷札であることが明らかである。(3)はもともと桶の底板のような円形の板の一部であったと思われるが、その廃材を花押の習書のために用いたのであろう。

二〇J九四—一六次調査

全部で二八点の木簡を確認したが、判読不能なものや極めて断片的な記述しかわからないものは除き、以下の一九点を紹介する。(19)は蓋に書かれたものである。

(4) ・「(目印)大津九兵衛」

・「(目印)古 二束ゆい」

165×21×3 011

(5) ・「三 喜兵衛」

・「大十□入」

163×20×3 051

(6) 「二郎右衛門」

56×19×3 011

(7) ・「<久□」

・「<久廿ま□」

113×21×2 033

(8) ・「○□□」

・「○□□六十入」

177×17×4 011

(9) ・「米 五斗」

・「□□入□」

89×28×4 051

(10) ・「<□□□」

・「<廿五まい入」

122×23×2 032

(11) ・「<二 久右衛門」

・「<□□□□」

140×19×4 033

(12) ・「<二 郎右衛門」

・「<□□「二百入」」

143×19×2 033

(13) 「さは八十入」

・「弥七郎」

111×21×4 051

(14) <□百五十入

(96)×26×4 033

(15) ・<(目印)さ□ろ九十入

・< ま一吉

113×11×4 033

(16) ・<かたせ□右衛門□

・<二郎五□

(113)×15×4 039

(17) ・「。□右衛門」

・「。山」

97×37×6 011

(18) ・<□

□ 九右衛門

・<□入

182×20×6 033

(19) 「かつを」
に三斤

(曲物蓋)

径99×厚4 061

(20) 「捨七匁」

114×(37)×2 019

(21) ・< いせ五□

・< □

159×12×3 033

(22)

三

五
加
太
郎
木
簡

(漆塗蓋)

178×(95)×3 061

(豆谷浩之・南 秀雄・鳥居信子)

木簡研究 第一三号

巻頭言

笹山 晴生

一九九〇年出土の木簡

概要 平城京跡左京三条三坊十二坪 東大寺旧境内(三社池) 藤

原宮跡 藤原京跡右京七条二坊 山田道跡 山田寺跡 長岡京跡

今里城跡 鳥羽離宮跡 壬生寺境内遺跡 里遺跡 大坂城跡 住友

鋼吹所跡 山之内遺跡 勝山遺跡 新金岡更池遺跡 豊嶋郡条里遺

跡 五反鳥遺跡 上小名田遺跡 吉田南遺跡 明石城武家屋敷跡

今宿丁田遺跡 袴狭遺跡 伊賀國府推定地 瀬名遺跡 忍城跡 市

原条里制遺跡 鉢形地区条里遺跡 石田三宅遺跡 斗西遺跡 一栗

谷朝倉氏遺跡 浄水寺跡 上荒屋遺跡 田中遺跡 八幡林遺跡 緒

立C遺跡 的場遺跡 荒田目条里制遺跡 柳之御所跡 矢野遺跡

岡山城二之丸跡 草戸千軒町遺跡 長登銅山跡 東山崎・水田遺跡

鴻臚館跡 大宰府跡 觀世音寺跡 多田遺跡 上高橋高田遺跡

一九七七年以前出土の木簡(一三)

飛鳥京跡 泉立明日香養護学校遺跡 大坂城跡

下曾我遺跡と出土木簡

香川県長福寺出土の木簡

「二条大路木簡」と古代の食料品貢進制度

中国簡牘学國際學術研討會參加記

彙報

頒価 四三〇〇E 一六〇〇E

鈴木 靖民

館野 和己

樋口 知志

佐藤 信